



第5回 サレジオ同窓会世界連合
代表者会議 2015 報告

近松秀明 (育英高専 7期卒)

2015年10月31日



サレジオ同窓会代表者会議

6年毎に開催

第4回 2010年開催

第5回 2015年開催

~~第5回 2016年開催~~

目的

全世界を代表する同窓会の会長及び執行委員の選挙による選出と規約の改正

個人的な見解として

サレジオメンバーの交流を深め、同窓会、サレジオ家族全体を活性化させる

ドン・ボスコの意思を引き継いだ教育関連事業の強化による社会貢献推進

規模

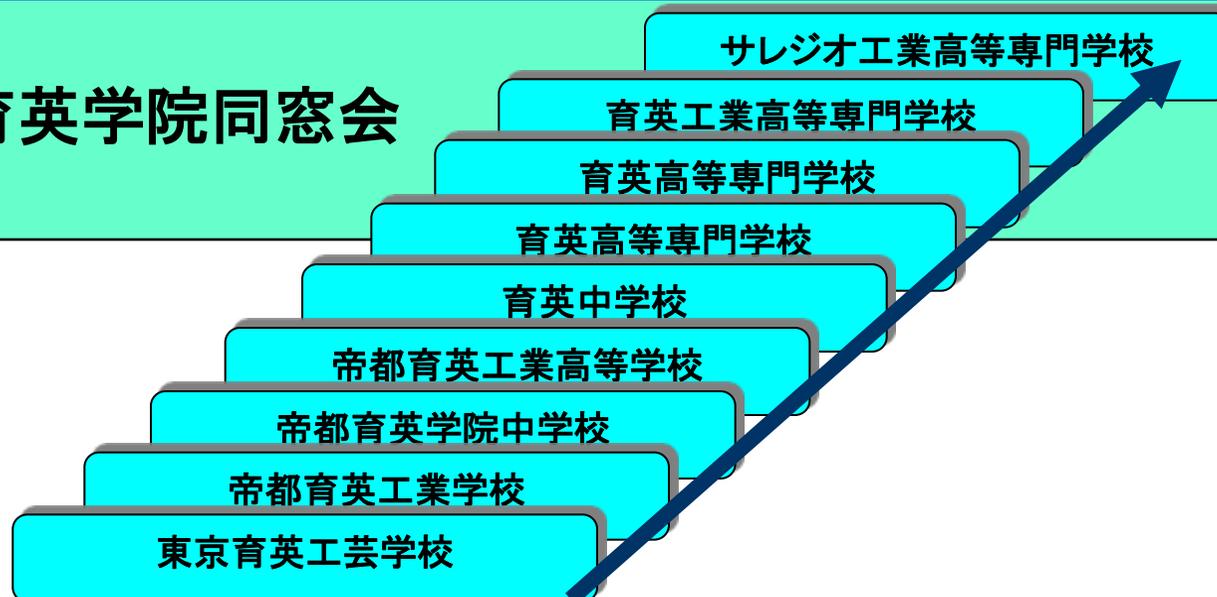
132 nations, 90 provinces, 1952 house, 15,373 SDB (10,393 priests, 1,824 brothers, 2,676 students, 480 novices)

ドン・ボスコ200周年にあたり、変則的であるが本年、開催することで、記念すべき年に各国代表が一堂に会する機会となるというのが理由の一つ？

サレジオ同窓会日本連合構成

- ・大阪星光学院同窓会 大阪
- ・サレジオ学院同窓会 横浜
- ・サレジオ小学校・中学校同窓会 東京
- ・日向学院同窓会 宮崎

・育英学院同窓会



東京

サレジオ同窓会日本連合参加者

- ・鈴木 正夫 神父 顧問(サレジオ小中学校前校長)カトリック大和教会主任司祭
聖トマス学園スマレ幼稚園園長
- ・矢本 浩教 理事(大阪星光学院同窓会 常任理事)
- ・立石 光洋 事務局長(サレジオ学院同窓会常任幹事)サレジオ修道会日本管区広報担当
- ・近松 秀明 理事(育英学院同窓会 副会長)



バチカン広場にて
左より 近松、鈴木神父、矢本理事、立石事務局長

会議期間と対応

2015年10月3日から9日

前半の10月3日から6日がローマでの会議

後半10月6日から9日はトリノ巡礼

ローマ会議のみ参加



サレジニウムレストランにて
フェルナンデス総長と



5th World Assembly of Past pupils of Don Bosco 2015

Saturday 3rd October

Arrivals and Arrangements

- 17.00 Open session and presentation of each Delegation
- 18.00 Approval of the Rules of the Assembly, Check up of voting rights, Approval of minutes: 2010 Elective Assembly, Report from the members of the Presidency (1st part)
- 20.00 Dinner
- 21:00 Prayer, Good night (Father Francesco Corada, Vicar of the RM)
- 21.30 Intercultural evening (stands and activities of the National Federations)

Sunday 4th October

- 07.00 Holy Mass (Central Delegate for SF, don Eusebio Muñoz)
- 07.45 Breakfast
- 08.30 Report from the members of the Presidency (2nd part)
- 09.30 Report of the National Federations I
- 10.30 Break
- 11.00 Report of the National Federations II
- 13.00 Lunch
- 15.00 Amendments and approval of the Statute I
- 17.00 Break
- 17.30 Amendments and approval of the Statute II
- 19:00 Dinner
- 20:00 Good Night (Confederal President)
- 21:30 Rome by Night

Monday 5th October

- 06.00 Breakfast
- 06.30 Departure for Vatican City (Fr. Charles Cini).

- 08.00 Holy Mass in S. Peter's Church, by Mons. Enrico Dal Covolo
- 09.30 Departure for Salesianum
- 11.00 Discernment: a new model for a new leadership for the Association (Fr. José Pastor Ramirez)
- 11.30 Presentation of the candidates
- 13.00 Lunch
- 15.00 Voting for Confederal President
- 16.00 Presentation of the turn to the Rector Major, Amendment and approval of the Statute III
- 17.40 Break
- 18.00 Proclamation of the President: Rector Major, Father Angel Fernandez Artime, Greetings of the Assembly to the President Elections for Regional Councillors
- 19.00 Dinner
- 20.30 Prayers, Good Night (Rector Major)
- 21.30 Meeting new Confederal Presidency

Tuesday 6th October

- 07.00 Holy Mass (Rector Major, Fr. Angel Fernandez Artime)
- 07.30 Breakfast
- 08.30 Speech of the new Confederal President
- 08.45 Amendments and approval of the Statute IV
- 10.30 Break
- 11.00 Speech Schneider Electric
- 11.15 Meeting Confederal Presidency
- Thematic squares: Suggestions for new Strategic Plan 2015-2021.
 - Organization/structures
 - Communication
 - Formation
 - Young Past Pupils (GEX)
 - Financial Aspects
 - Social Commitment
- 12:45 Deliver of the Distinctives and of the gadgets
- 13:00 Lunch
- 14:00 Departure for Turin
- 22:00 Arrival in Turin
- 20.00 Official Dinner (Valdocco)

via della Pisana, 1111 - 00163 Roma

行程と概要

第1日目 10月2日(金):移動、会食会

【移動】羽田国際空港 00:50>NH203> 06:00フランクフルト国際空港07:40>NH6135
>09:25ローマ・国際空港10:30>送迎タクシー>11:00サレジアヌム

【会食会】 20:00~22:00



第2日目 10月3日(土):本会議、文化交流会

【レジストレーション/日本連合ブリーフィング】

【本会議1】17:00~20:00 会議規約承認、投票権の確認他

【会食会】20:00~21:00

【夕刻の祈り】21:00~21:30

【文化交流会】21:30~23:00



第3日目 10月4日(日):本会議:市内見学会

【ミサ】07:00~08:00

【本会議2】09:05~19:00 各国同窓会の報告/選挙管理委員の選出と発表/会則の改定と承認

【会食会】19:00~20:45

【夕刻の祈り】20:45~21:15

【ローマ市内見学】 21:15~23:45 貸切バスでの夜間観光、コロセウムなど



第4日目 10月5日(月):移動、バチカンでのミサ、本会議

【移動】サレジアヌム06:30→貸切バス→08:00バチカン

【ミサ】08:00～09:30 (ホセ・パストール・ラミス神父)

【移動】

バチカン09:30→貸切バス→11:00サレジアヌム

【本会議3】11:00～20:00投票、開票、会則の改定と承認、総長挨拶他

【会食会】20:00～21:00

【夕刻の祈り】21:00～21:10

【総長声明】21:10～22:00 (フェルナンデス総長)

【日本連合ブリーフィング】22:00～23:00



第5日目 10月6日(火):ラップアップと移動

【ミサ】07:00～07:45

【本会議3】08:45～12:40 会則の改定と承認、シュナイダーエレクトリックによる挨拶
世界サレジオとしての今後の課題と対応に関する、語学圏毎のディスカッション

→日本連合は英語圏グループに参加して意見交換

12:45～13:00(新会長所信表明演説、証書授与)

【移動】ローマ・国際空港18:15> NH6094 20:20(10分早着)>ミュンヘン国際空港
> NH218 >

第6日目 10月7日(水):移動

>15:30 羽田国際空港



サレジオ修道会とサレジアヌム

サレジオ修道会は、ローマ法王(教会では教皇)のバチカンのもとで、イエズス修道会、フランシスコ修道会とともに活動する3大修道会の一つである。

会場は、そのサレジオ修道会本部にある、サレジアヌムと呼称される施設で開催された。サレジオ修道会本部は、ローマ空港と市内のおよそ中間地点付近、ローマ郊外に位置し、サレジアヌムには、300名程度収容可能な大会議場と複数の会議室、聖堂などが配置されており、また参加者全員の宿泊も可能な施設となっている。

サレジアヌム: SALESIANUM



ローマ市内

施設のゲートにU808系統路線バスの停留所があるが、時刻表示がなくいつ来るのか不明

20分おきらしいが、市内に出るため1時間待っても1反対側の方向が1台しかこなかった。結局タクシーが安心となる。

ローマ空港



サレジアヌム全景

サレジアヌムはなんとなく、町田サレジオ幼稚園の園舎の雰囲気にていると現地では思っていたので比較した。

建物の色が似ている程度であった。



町田サレジオ幼稚園



サレジアヌム内 大会議場



サレジアヌム内 聖堂

初日の見学と会食会

ローマ空港

首都ローマの中心地にある、歴史地区から南西へ約35kmのフィミチーノ市にあり、正式名称は“フィミチーノ空港 (Rome Leonardo da Vinci International Airport)”である。

ターミナルビルは1から3まであり、連絡用のムービングウォークなどはなくやや不便であるが、全体としてはまとまりがあるデザインとなっている。ターミナル3は工事中であり、帰国の際はバスラウンジからの搭乗となるため、時間に余裕が必要である。ターミナル3には、サテライトがあり、サテライトと本館の間には、APMが運行されていた。



ダビンチ空港であることを主張するモニュメント

市内見学

到着日、夕刻の会食会まで 6時間ほどあるので、ローマ市内見学に個人でいったが、市内アクセスのバスが1時間程まっても来ないので、流しのタクシーを拾い、最寄りの地下鉄B線の駅に向かった。ところが、当日は地下鉄がストライキのため運転休止しており、タクシーで市内に再移動し帰りはテルミナ駅より国鉄に乗車空港まで移動後再度タクシーで会議場に戻るようになってしまった。



コロセウム全景



市内のトラム

レオナルドエクスプレス



連接車両であり、内部は駅部にあわせて昇降面が底床となっている。車高がダブルデッキ一程あるので制振のため車両間はダンパーが設備されていた。



会食会

第1日目の会食会では、日本人は1名だけなので、珍しのためか、イタリア関係者のテーブルに招かれ、チェレダ副総長と会長フランチェスコ・ムチオ氏とお話することができた他、別のテーブルでは、東チモール、インド関係者との懇談ができた。

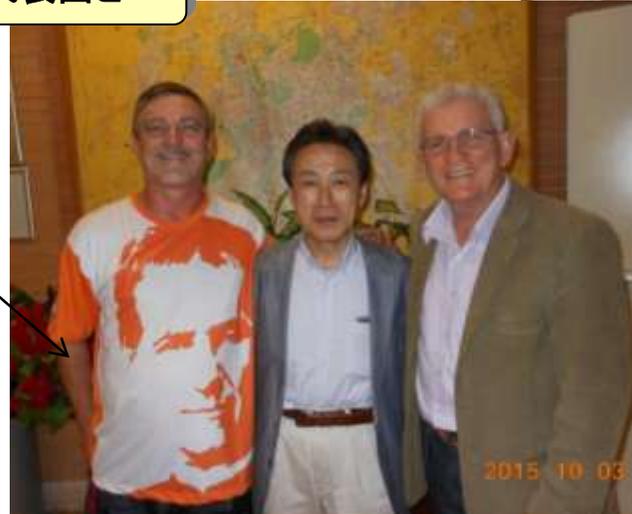


ブラジル代表团と



東チモールマルカス氏と

ドン・ボスコ
Tシャツ



東チモールは今回50名の代表団を派遣しており、最大の参加人数であった。

本会議

規約改正



規約改正審議の様子

今回は、大幅な改正があったこともあり、承認作業にかなりの時間を要した。各国の代表1名が当該の対応することになっており、議場の最前列の投票者席に、当該の各国代表者が着席し対応するというものであった。初回に承認されたものを次の回に再度内容を確認するという作業もあり、挙手による合意確認を章ごとに実施するなど、かなり忍耐が必要な対応となった。

Regulations¹ of the Fifth Confederal World Assembly of the Past Pupils of Don Bosco

To carry out its work, the Confederal World Assembly is agreeing to these regulations which outline the procedures which will regulate its proceedings. These regulations will be adopted at the beginning of the Assembly².

I. The Convocation of the Confederal World Assembly

Art 1. The Confederal World Assembly is the ultimate sign of unity of the Association of Past Pupils of Don Bosco, in all its diversity, how it is organised³ and regulated through its statute. It is the fraternal meeting where the Past Pupils come together to reflect on the Association by being faithful to their culture, to the Gospel, the Church, society and to Don Bosco as the animator, guide, inspiration and leader of the Salesian Family⁴.

During the Confederal World Assembly, guided by the Holy Spirit, we seek to discern the will of God to offer a better service to families, to the Church, to the Salesian Society and the Association.

The Confederal World Assembly is convened by the Confederal World President. (Article 19 C of the Statute).

Art. 2. The Confederal World Assembly is the highest authority of the Association, under the direction and authority of the Rector Major as the heart of unity of the Salesian Family. In particular, the Confederal World Assembly establishes the regulations of the Confederation, discuss the most important issues, and elect the

¹ The first draft of this Regulation was done by the World Delegate of the Past Pupils, Fr José Pastor Ramirez, in 2010. Then, in 2015 it was updated by the Electoral Commission and by the Coordinator of the World Confederation Assembly.

² Statutes of the World Confederation of The Past Pupils of Don Bosco 2010, art. 17 a.

³ Statutes of the World Confederation of The Past Pupils of Don Bosco, art 16 a.

⁴ Statutes of the World Confederation of The Past Pupils of Don Bosco, Art. 13.

規約改正点の説明（抜粋）



ブラジル代表团と

イタリア語が公用となっているので、同時通訳として、スペイン語、ポルトガル語、英語が準備されていたが、英語の同時通訳がプアーであり、体調がわるいのか、状況が良いときだけ少しだけ通訳しあとはヘッドホンからは、ため息？が聞こえてくるだけで、英語以外のプレゼン内容はほとんど理解できなかった。

(ときどき Yes, Thank you, などが体調不良？のときに聞こえるという状況で、例えば

We should provide educational good condition. *Ha, Haa,* *Haa yes, Ha, Ha* then issued program *Ha, Haa* yes Thank you

の様な感じの同時通訳がほぼ一日中続く状況であった。)



日本代表团
左より立石事務局長、矢本理事、鈴木神父、近松

会長選挙

13ヶ国が立候補したこともあり、プレゼンを拝聴し、投票者を選定するという事は、かなり難しい対応であった。結果的には棄権もあり、10ヶ国からの選定となった。開票の結果、世界連合の会長は、2期目を満了したフランシスコ・ムチェオ氏(イタリア)にかわり、新しくミハイル・ホルト(Hort Michal)氏(スロバキア、37歳)が新会長の任を拝命することとなった。



フランチェスコ前会長と



ミハエル新会長と

左より：近松、矢本理事、新会長、フェルナンデス総長、鈴木神父、立石事務局長

各国同窓会報告と交流会

同窓会報告

26カ国の報告となるが、地区代表の報告もあるので実際はこの数より多くなる。当初2部構成で計画されていたが結局3部構成となった。1部、2部では10名、3部では3名の合計24名の報告があった。インドなどは1ヶ国で、3名の報告があった。

日本は、立石氏がメインスピーカとなり、エンディングで矢本氏が思いをアナウンスした。

事前に準備した、“サレジアン法被”を壇上で着用する演出と、歌舞伎さながらの、両氏のイントロに会議場内はとてものなごやかな雰囲気となった。内容は、サレジオ会の日本布教の経緯歴史、教育事業にかかわる各校の紹介、日本連合同窓会の設立と活動内容などを手短にまとめたスライドを使用し説明し、エンディングでは、東日本大震災からの復興過程にある日本が2020年にはオリンピックを迎えるまでに回復過程にあり支援を願いたい旨の趣旨でプレゼンを終了した。



壇上で報告する矢本理事（左）と
立石事務局長（右）

交流会

第1日目の会議終了後に、各国のブースを設け、活動状況の一環の紹介を行った。国によっては、特産の酒、スナック類をふるまうなどしており、当該の対応のブースは人気があった。日本連合はコミックのコラッジョ(日本語版)を展示し、ドンバスコバッチなどを配布するとともに、全員ハッピーを着用して存在感をアピールした。副総長のチェレダ神父からも「日本が会の雰囲気盛り上げてくれている」と称賛をいただいたと立石氏から報告があったほか、ムチエオ会長ほか要職の方々にお土産のハッピーを渡し大変喜ばれた。



中米コスタリカの代表



サレジアン法被は人気

ブラジル代表と懇談するチェレダ副総長



惜しくも会長選挙で破れたブラジルのエドワード氏と夫人(第2位でした)



バチカンでのミサと夜間のローマ見学等

バチカンでのミサ

バチカンでは荘厳な雰囲気の中、早朝ミサが行われた。ミサにあわせ、内部を見学することができた。ドン・ボスコ像が、聖ペトロ聖堂のエントランス付近の支柱に設置されていた。



ミサの様子



サン・ピエトロ大聖堂全景

ドン・ボスコ像

ピオ9世

聖ペトロ像



ドン・ボスコ像

パナソニック

法王に謁見に集合した人々に対する設備として4箇所プロジェクトスクリーン設置されているが、全て“Panasonic”であり日本製品が評価されている。この設備が、他国メーカーにならぬ様に全ての分野において日本として努力が必要であると感じた。



プロジェクトスクリーン



Panasonic のロゴが素晴らしい

夜のローマ見学

4日の会食後、バス4台に分乗しローマの市内見学にむかった。時間帯が遅いため店はほとんど90%以上営業終了していた。



夜のコロセウム

サレジオ高専に対する期待

ミラノ博覧会対応

初日(3日)のブリーフィングでミラノ博の件に関しても、参加した大阪星光の矢本氏から報告があった。

ミラノ博は日本では一部の報道しかないが、ドンボスコ館がオープンしているということで、今回、大阪星光学院の矢本氏が10月2日に同館のブースでコミックを主体にプレゼンを実施し、好評であったとの報告があった。立石氏によると、当該の博覧会に主催者側から、サレジオ高専に、ソーラーカーなど環境技術に関する展示を約2週間、参加(費用は主催者負担)してほしいとの展示対応協力の呼びかけがあったにもかかわらず、サレジオ高専はその招待を断ったらしいとの話題が提示された。地元報道関係の取材もあった様で、日本館も近くにオープンしていたことから、もしサレジオ高専が対応していたら、かなりインパクトのあるものとなり、広報効果も絶大であったのではないかとのご意見を戴いた。

東チモール

参加国の中で最大の、50名の代表団を派遣している、親日国家であり、スロイテル神父が当初の活動に大きく寄与したことから、サレジオ高専のことを知っている人もいた。来年のアジア、オセアニア大会の開催国であることから、日本からの代表がくることに大変期待している様で、ユニフォームであるジャケットを頂いた。来年訪問する方はぜひ当該のジャケットを催しの前後など着用いただくと良いと感じた次第である。

エクアドル

4日目の会食会において、鈴木神父とエクアドルの Ing. Milton Leon M(ミルトンレーモン)氏とテーブルを囲んだ際に、エクアドルの工業学校とサレジオ高専の間で、ぜひ技術教育交流を実現したいとの話が展開した。回答にいささか躊躇したが、帰国後に学校側に伝える旨を説明した。今後、展開する上では、サレジオ高専の学科を具体的に説明し、技術教育交流ができる学科があるかというところから始めることになると思う。前記の対応をし、その後、学校側への展開の順序になるかと。

まとめ

最終日には、世界サレジオとしての今後の課題と対応に関する、語学圏毎のディスカッションがあり、日本連合は英語圏グループに参加して意見交換した。(矢本氏は帰国のため、3名で参加)課題としては、通訳の対応、卒業生の進路トレースなどが提示された。下名からは、6年毎の開催はスパンが長いため3年毎にミニセッションを企画してはどうかと提案し、賛同を得た。また、今回、不参加となっている国の事情などを聞いたところ、資金的な問題が大きい様であった。

今回、会議とこれらの施設利用と関係者との交流を通してサレジオ修道会の大きさと、ドンボスコの理想を追求した教育関連事業の底の深さを、身をもって体験することができたことは大きな成果であった。

また、同窓会、学校含め、サレジオ修道会の活動、世界同窓会の広範な姉妹校とのつながりを在学中の学生、父母にもアナウンスするとともに、一部から検討要請のあったサレジオ高専との技術教育交流等も、前広に対応する必要があると考える。

次回は6年後(場合によっては、3年後に、ミニセッション開催の可能性もある。)であるが、全体会議とは別に個別の情報連絡体制などの検討も視野に入れた、日本連合としての同窓会活動も必要と思われるが、まずは、現在、立ち上げた、サレジオ同窓会日本連合会の活動をしっかりとしたものにしていきたいと感じた。

Thank you for kindly attention

